

半切四分の一に書く(6)

締切り 六月二十四日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕しんげつゆうほうをてらす
晨月照幽房

〔大意〕早朝の月がとじこめられた部屋を照らす。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

準初段から六段まで

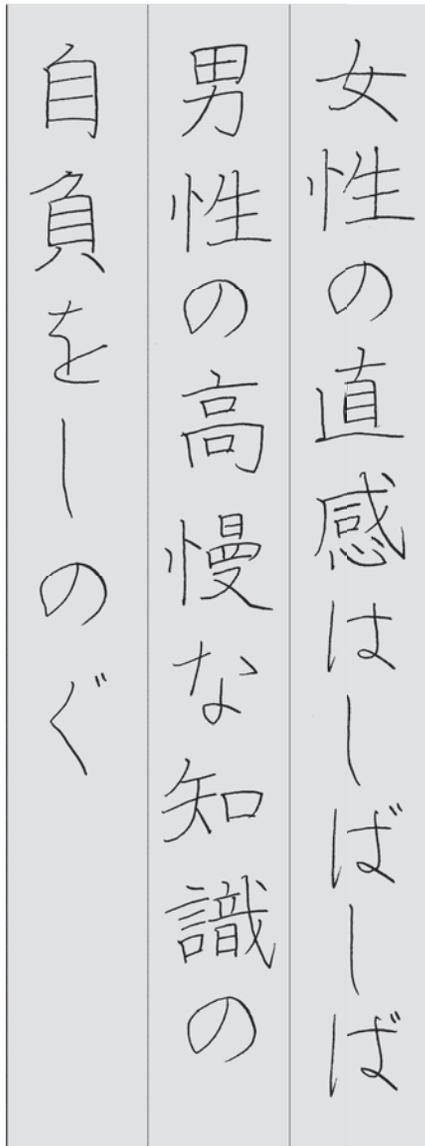
新入から1級まで

〔解説〕



◎今月は楷書。字形は他の書体に比べると実には明白でゴマカシが効かない。ともかく字が上手になるには練習につく練習しかない。努力こそ上達の最高の手段です。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

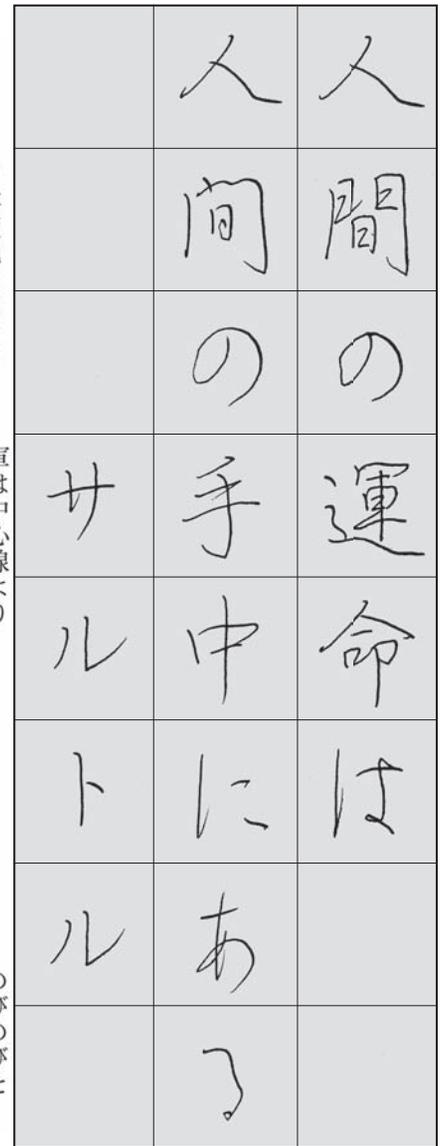


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆7月課題予告(行書)
- 沈黙は
- 会話の中のひとつの
- 偉大な技術である
- ▼教範・書範⇨楷書
- ▼師範⇨行草または草書

★女性の…(書体⇨楷書)
マハトマ・ガンジー(一九五〇～一九四八)
インドの政治家
女性の直感の鋭さは、知識を振り回す高慢な男性をしのがることが多々あります。女性の直感に従ったほうが、いい結果を招くことも多いのです。
現代ではあたり前のことですが、ガンジーは当時から、軽視されていた女性の力を信じていたのです。

★人間の…(書体⇨行書)
サルトル(一九〇五～一九六〇)
フランスの文学者・哲学者
人生にはさまざまな可能性があります。何を選び、どの道に進んでいくかは、自分の責任において決定していかなければなりません。思いどおりにいかないこともありますが、運がいいとか悪いとか、他に責任を転嫁することなく、正面から挑んでいきたいものです。

◆7月課題予告(楷書)
多くの友を
有する者は
一人の友をも得ず

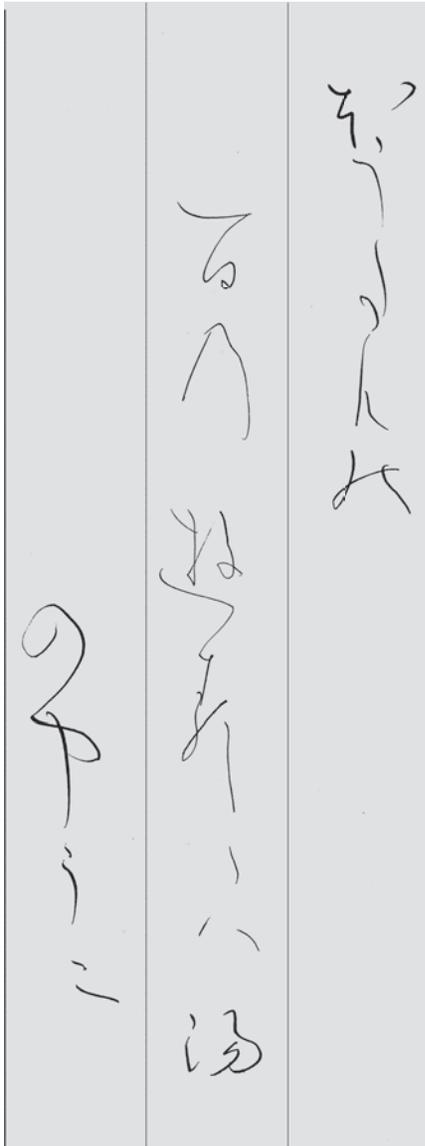
一般部かな課題

締切り 6月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

本多能乃遊類ハハ
 ぼうたんの百のゆるるは湯のやうに



本多能乃遊類ハハ
 ぼうたんの百のゆるるは湯のやうに

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

		ほ
	百	い
	乃	し
湯	ゆ	ん
乃	る	の
や	ハ	
ハ	ハ	
ハ		

おお みや しゅん ちよう
 大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお みや しゅん ちよう
 大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

本多能乃遊類
 本多能乃遊類
 本多能乃遊類
 本多能乃遊類
 本多能乃遊類

〔古筆参考〕

ぼうたんの百のゆるるは湯のやうに
 (森 澄雄)
 【句意】初夏のさわやかな風に吹かれて、
 百本も咲いていると思われる、たくさんの
 牡丹の花が揺れ動いている。それは、まる
 で湯のようにたゆたい、ゆらいでいること
 である。

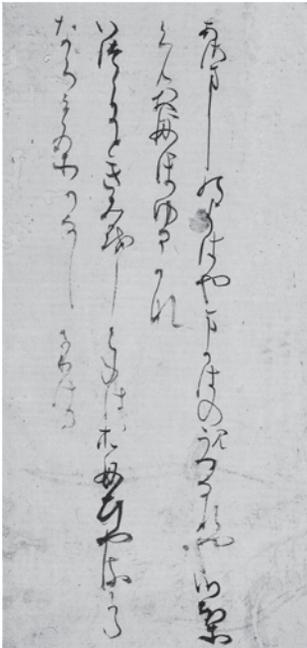
◆7月課題予告

せつせつと眼まで濡らして髪洗ふ

(野沢節子)

〔古筆参考〕

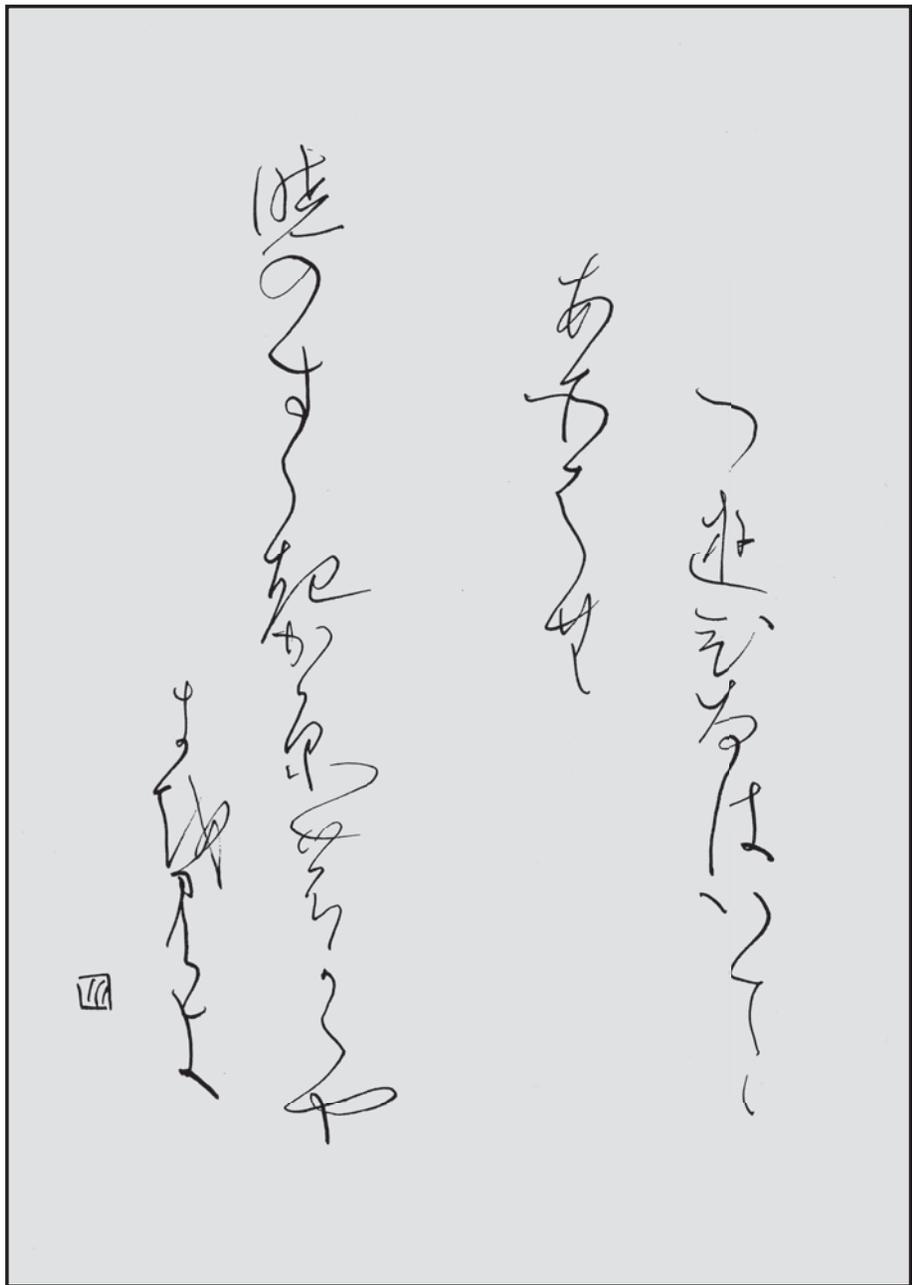
いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



あさまし佐万能のよはやまか万可はのうづみ奈なれや心本所ぼそ
くも无母おもほゆる可那かな
いつく徒尔にとき越みをしらね年ばおもひ於母やる流可多かた
なく毛ものぞ所可奈かな可利かりける

締切り 六月二十四日(必着)

築瀬舟香書

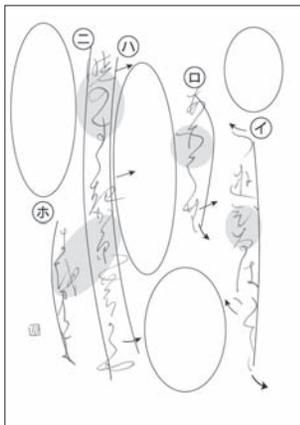


露つ遊飛奈干起なば出いでてあそ所者無ばあか暁つきの
薄す、起が原農可、支越のかがや支越きを見よ

〔歌意〕草の露が乾いたら野に出て遊
びましよう。夜明けの薄の原が、露に
濡れて輝いているこの美しい風景をみ
てごらんさい。

〔出典〕名歌即訳 若山牧水

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④
- ②と⑤、②と⑥、③と④
- それぞれ呼応。
- 行の密の動き大切。
- 〱 の方向(指向性)大切。
- 〇 作品の間大切。
- 運ペンのリズム大切。

◆7月課題予告

富士が嶺すそのや裾野きたに來り仰あふぐとき
いよよ親おしき山やまにぞありける

締切り 6月24日(必着)

▼今回初めて、はがきの表書きを学びます。**住所・氏名は自由です。**
▼郵便番号の枠はそのまままで結構ですが、構成上書きづらい場合は、原寸大の右手本を敷き写しするなどして下さい。
▼外枠だけの省略した形でも構いません。
▼書く順序は、まず宛て名を中央に一番大きな字粒で書きます。次に宛て先を二番目の大きさで書きます。差出人の住所は一番小ぶりに書きます。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

◎手本は水性ボールペン使用

郵便はがき

062-0911

札幌市豊平区旭町ニ一五
レジエントハイウエ五

河西紀明様

名古屋市長東区望が丘一
浅田麻緒

4650046

横書き課題

ミケランジェロが「天地創造」を
描き始めたのは33歳の時である。

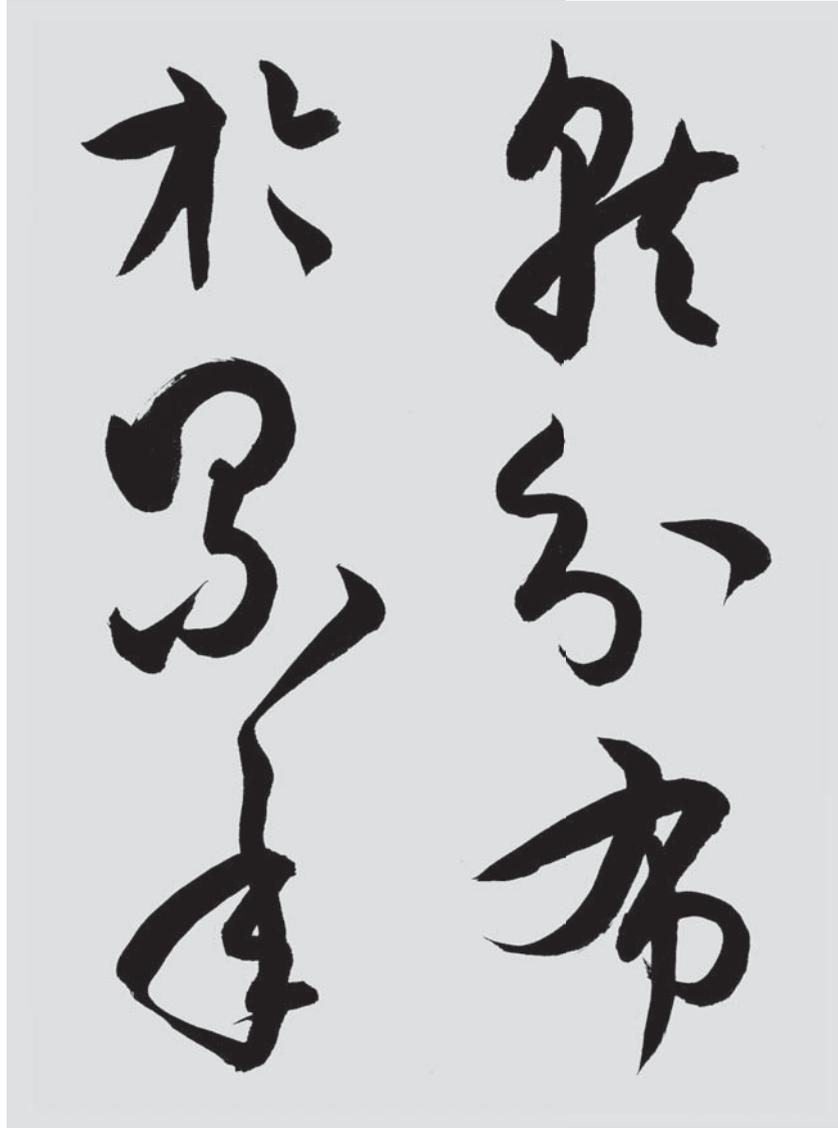
山口県宇部市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 6月24日(必着)

就
分
布
於
累
年

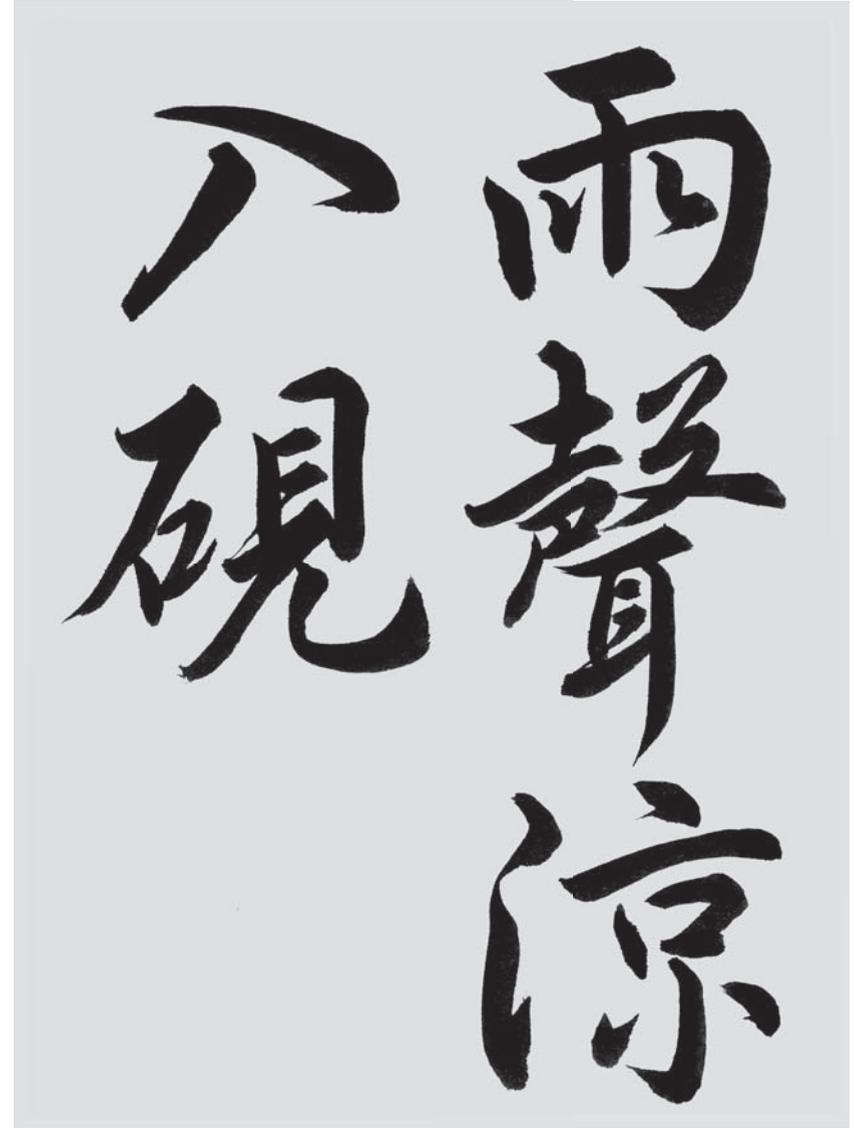


準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕書譜(687) 〔筆者〕孫過庭(648?~703?)

〔読み〕^{ぶんぷ}分布に^つ就きて^{ここ}於に^{とし}年を^{かさ}累ぬるも



新入から1級まで(行書)

須田一葉書

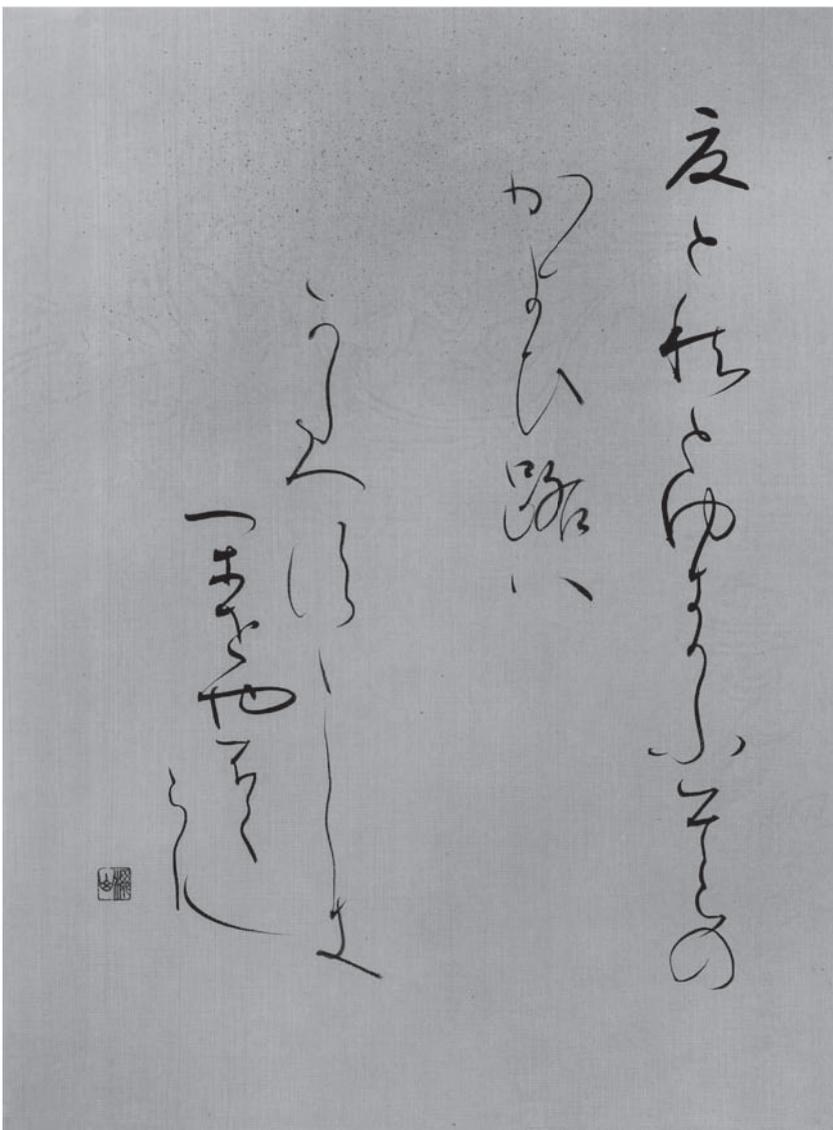
〔読み〕^{うせいりょうけん}雨聲涼硯^{はい}に入る

〔大意〕雨の音が聞こえ、心地よい涼気が硯に入る。

一般部毛筆かな課題

締切り 6月24日(必着)

※検定試験三段コース以上を兼ねる。



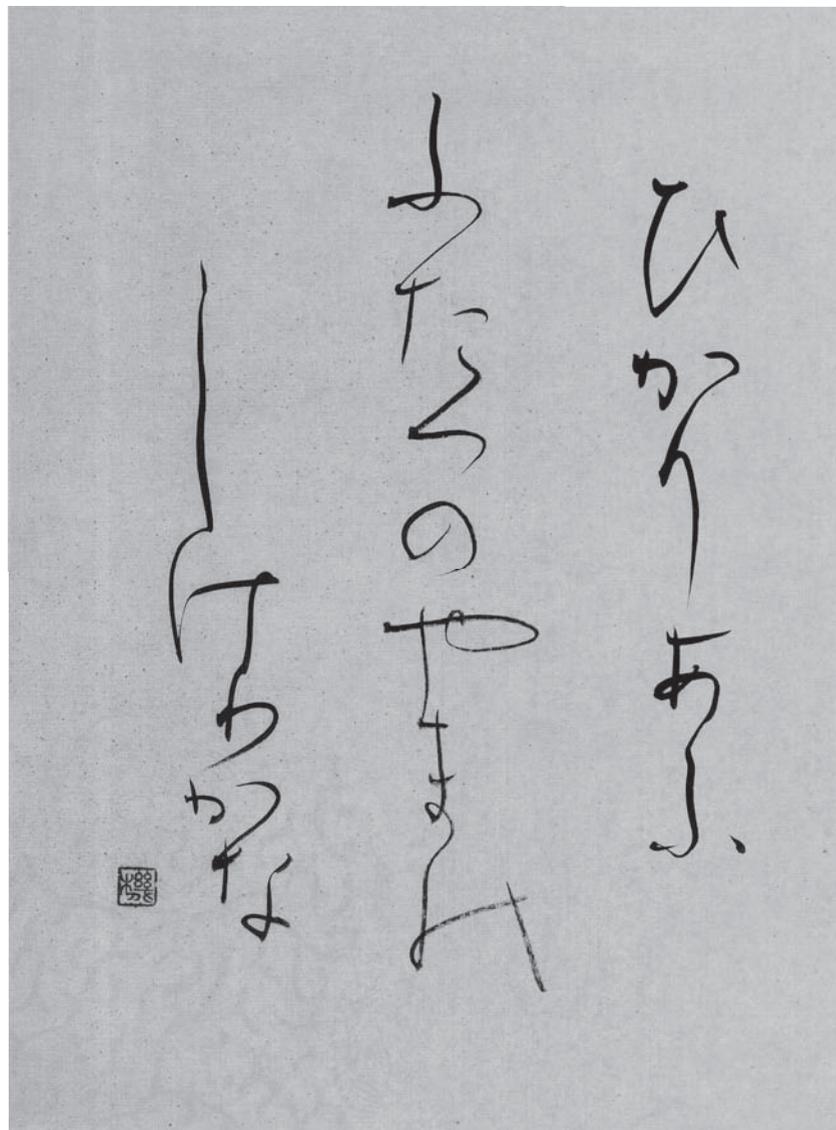
夏と秋と行きかふ空の通ひ路は、
かたへ涼しき風や吹くらむ

〔出典〕 おおしこうちのみつね 凡河内躬恒

〔歌意〕 夏は今日で去り、明日は秋がくる。その二つが行きちがう、大空にある通路は、秋のくるほうの片側には、いまごろは涼しい風が吹いていることであろうか。

※検定試験一級コースを兼ねる。

準初段から師範まで



ひかりあふ二つの山の茂りかな

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

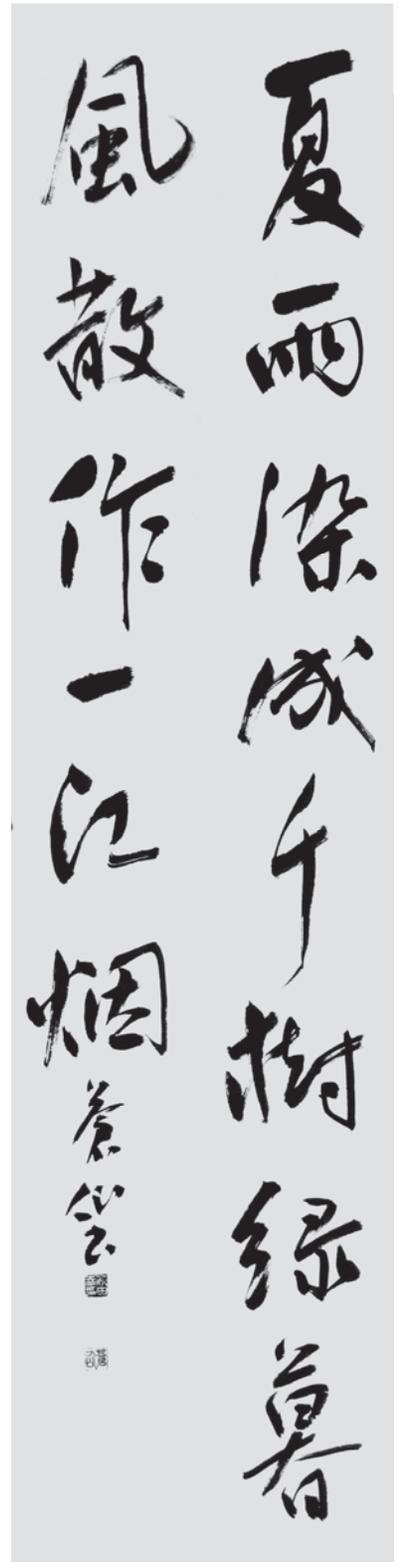
〔出典〕 むかいきょうらい 向井去来

〔句意〕 並び立つ二つの山は木々が茂り、光に輝いている。お互いにその光りを競いあっているようだ。

新入から1級まで

浅井機山先生書

一般部毛筆条幅課題

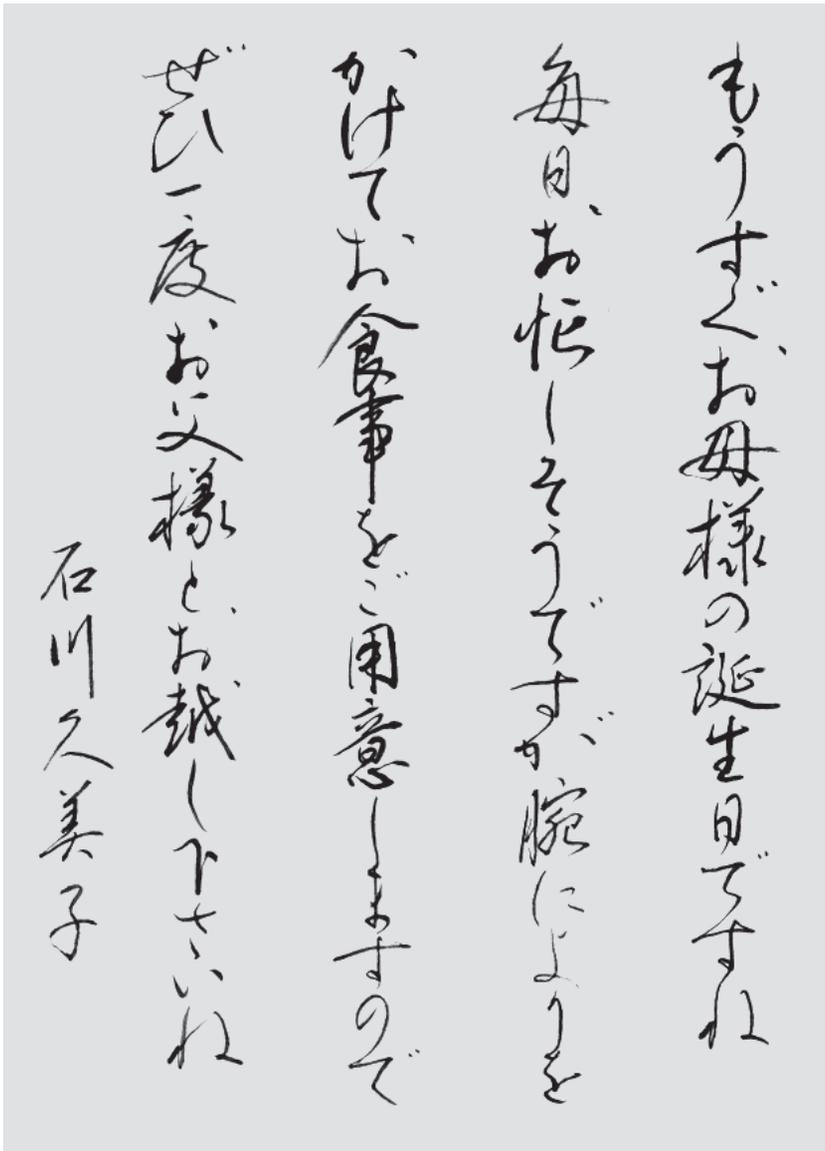


締切り 六月二十四日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)

荻田蒼仙書

夏雨染成千樹綠
暮風散作一江烟
〔大意〕夏の雨が降ればすぐに多くの木を緑にする、そして夕暮の風が吹くと入江一面の霞となって散る。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

一般部毛筆細字課題



書 華 玲 田 樋

半紙(334mm×240mm)

※検定試験三段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕書くにつれて墨量が減って墨つきは強くなり過ぎないように。字は疎密を考え、懐は広く求心的にならないように。

もうすぐお母様の誕生日ですね
毎日お忙しそうですが腕によりをかけてお食事をこ用意しますので
ぜひ一度お父様とお越し下さいね

(ご自分の氏名)

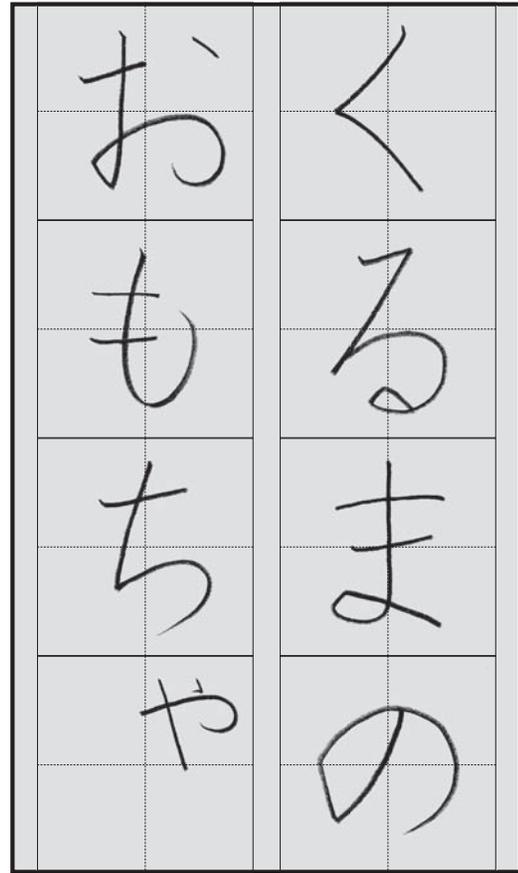
・印で墨つきしました。

予告 来月は「のし袋等の表書き」を学びます。

〔条幅・細字作品の出し方〕

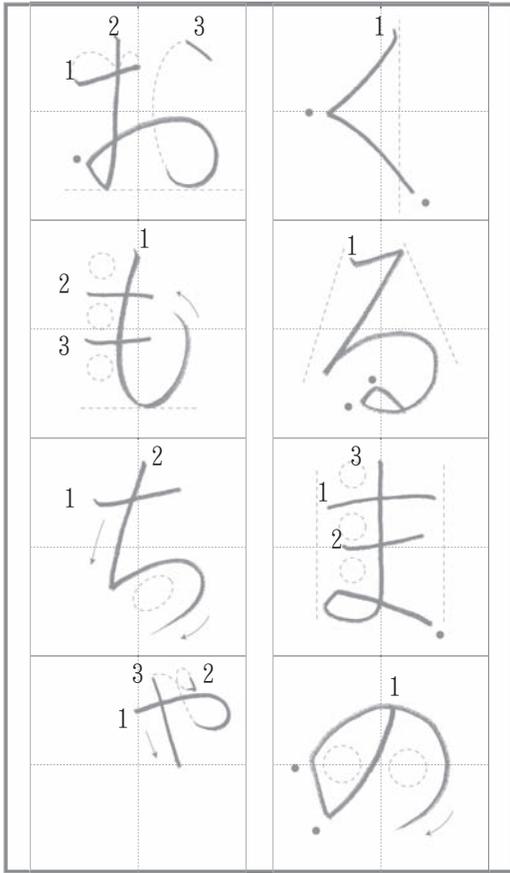
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よ
う
年



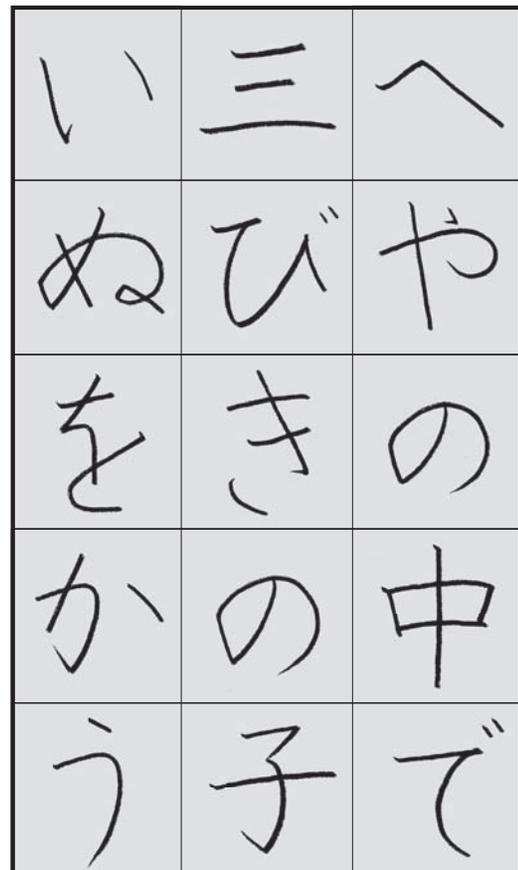
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかき)

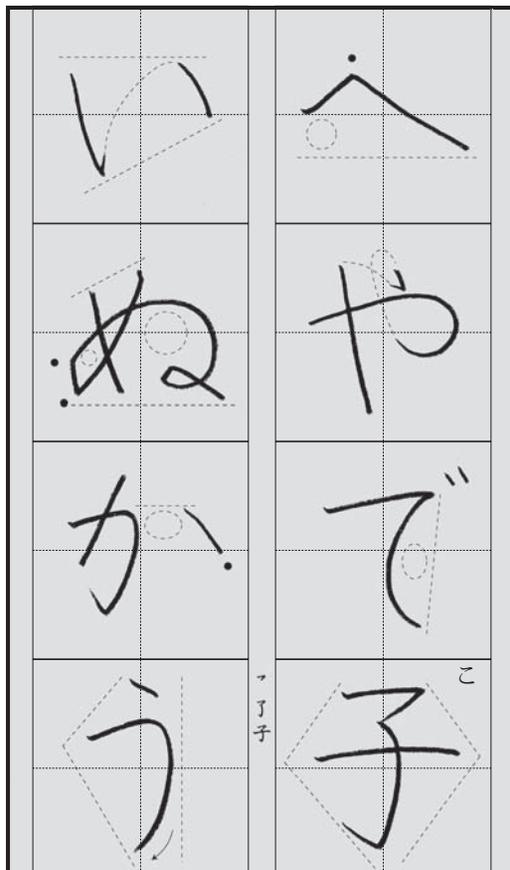
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

絵	四
日	月
記	か
を	ら

新入〜1級

は	日	四
じ	記	月
め	を	か
た	つ	ら
よ	け	絵

準初段以上

小二年

準初段以上

を	人
読	魚
む	ひ
よ	め

新入〜1級

ち	ひ	童
に	め	話
読	を	の
む	妹	人
よ	た	魚

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

花 <small>ばな</small>	季 <small>キ</small>
を	節 <small>セツ</small>
つ	の
む	草 <small>くさ</small>

(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月縮切り分までは、この方法が続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- * 七月縮切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

下	近	低
り	し	気
坂	天	圧
で	候	が
す	は	接

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

近 <small>キン</small>	低 <small>テイ</small>
天 <small>テン</small>	気 <small>キ</small>
候 <small>コウ</small>	圧 <small>アツ</small>
坂 <small>さか</small>	接 <small>セツ</small>

小四年以上
岡嶋桂川書

小六年

族	れ	美
館	の	し
で	魚	い
見	を	背
た	水	び

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

族	美
館	背
見	魚
	水

〈用具 自由(黒色に限る)〉

中一年

が	満	夏
光	天	の
り	の	夜
輝	星	空
く	座	に

(楷書)

中二・三年

(楷書)

助	を	生
活	第	命
動	一	の
す	に	尊
る	救	重

▼小三年以下の課題 さわ 澤 よし 幸 かず 寿 書

水 <small>みず</small>	上 <small>じょう</small>	長 <small>なが</small>	ぞ	ニ <small>に</small>	
あ	手 <small>て</small>	い	う	ひ	
び	に	鼻 <small>はな</small>	さ	き	
し	使 <small>つか</small>	を	ん	の	
て	っ		が		
る	て				

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 6月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 にし 西 わき 脇 せい 聖 えん 園 書

緊 <small>きん</small>	初 <small>はじ</small>	馬 <small>ば</small>	飛 <small>と</small>	障 <small>しょう</small>	
張 <small>ちやう</small>	め	術 <small>じゆつ</small>	び	害 <small>がい</small>	
し	て	競 <small>きやう</small>	越 <small>こ</small>	物 <small>ぶつ</small>	
た	出 <small>しゅつ</small>	技 <small>ぎ</small>	え	を	
	場 <small>じやう</small>	に	る		
	し				

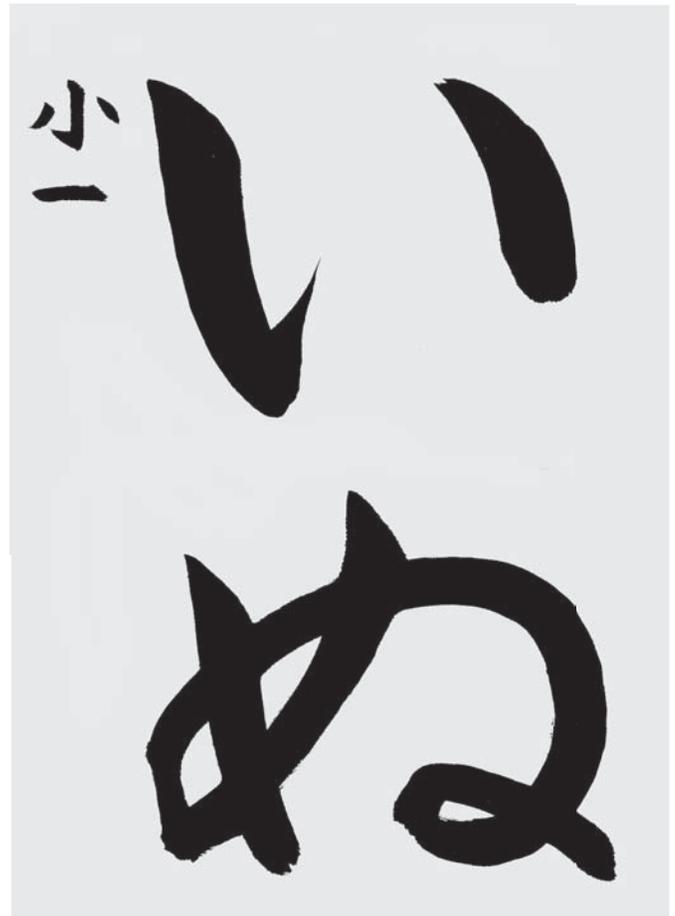
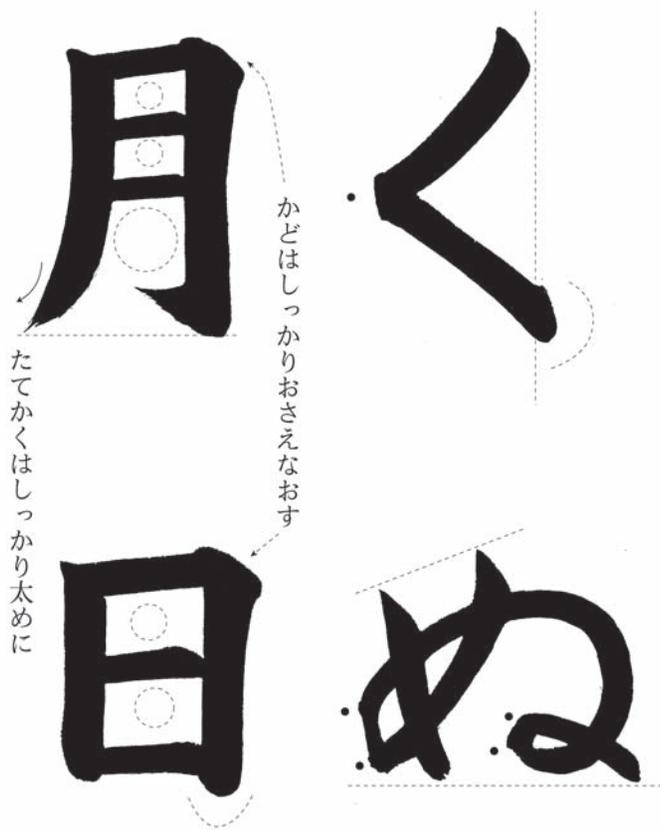
◎お手本はつけペン使用

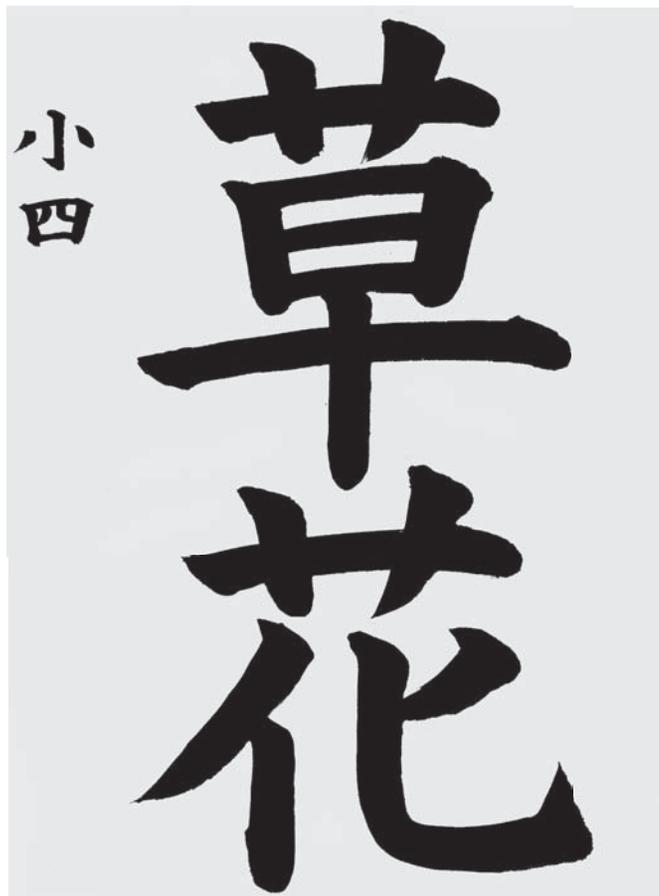


- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年〜小二年
玉樹小華書





小三く小五年
水みづ野の香かほ竹たけ書

中二・三

尊生
重命

館水

小六

族

小六(中二・三年)

奥村暢之書

中心

座

長めに

1

族

2

3

4

命

館

小

大

尊

夏

中一

星座

夏

座の

第66回 毛筆検定試験受験要項

6月24日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いいたします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成二十六年六月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十六年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題 五段コース以上
会友コース以上

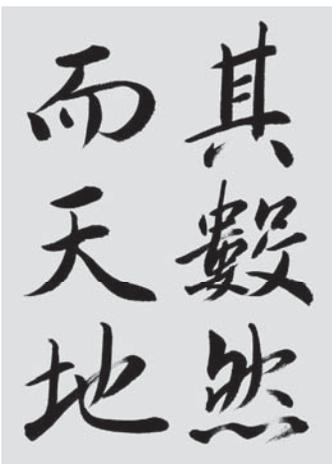
漢字半紙	一、〇〇〇円
細字・かな	一、五〇〇円
漢字半紙	一、二〇〇円
細字半紙	一、五〇〇円
条幅	三、五〇〇円
細字	一、七〇〇円
教育部	八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例級位課題	1	1	1	1	4	2,000

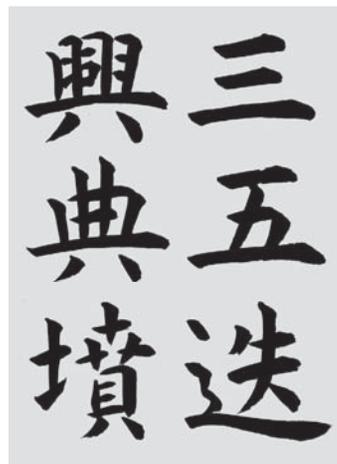
[三段コース漢字課題]

《集字聖教序》



神谷葵水先生書

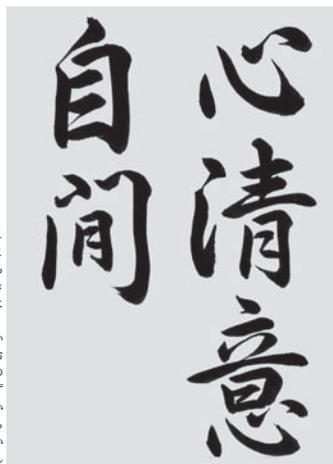
《孔子廟堂碑》



心清意自開

[1級コース漢字課題]

《行書》



須田一葉書

《楷書》



コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000
教育部	普通コース	—	6月しめきりの月例競書課題									1	400
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	700

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
- 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

五段・書範・教範コース課題

漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

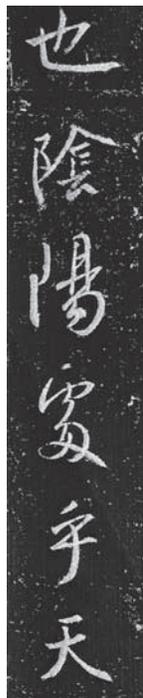
▼孔子廟堂碑

可得言焉自肇



▼集字聖教序

也陰陽處乎天



▼書譜

夫自古之善書



かな 三段コース以上共通(半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎夏と秋と行きかふ空の通ひ路は
かたへ涼しき風や吹くらむ(凡河内躬恒)

※6頁参照

条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

花影忽生知月到
竹梢微響覚風来

細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

この度は部長様にまでお心遣いをいただき恐縮に存じます。娘には心のやさしい人に育ってほしいと願い「優子」と名付けました

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小1 あさ

小6 予想的

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題

家庭

(行書)

▼六月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。